

公益社団法人 愛荘町シルバー人材センター

令和5年度 事業報告について

1. 令和5年度の事業実績

(金額の単位：千円)

区分	項目	令和5年度	令和4年度	前年度比
請負	受託件数	2,061	2,041	20
	延日人員	18,916	17,777	1,139
	契約金額	116,898	108,902	7,996
派遣	受託件数	394	322	72
	延日人員	11,473	10,279	1,194
	契約金額	59,788	50,555	9,233
	内、受託収益額	5,258	4,038	1,220
合計	受託件数	2,455	2,363	92
	延日人員	30,389	28,056	2,333
	契約金額	176,686	159,457	17,229

- ・令和5年度の事業実績の合計契約金額は、前年度比で1,723万円増加し1億7,668万円となり、目標の1億5,000万円を達成しました。
- ・この内、請負契約は前年度実績から約800万円増加し1億1,690万円となりました。これは主に、民間企業からの新規受注や単発受注の確保による750万円の増加が寄与しました。
- ・一方、派遣契約についても、新規受注の積み上げにより、前年実績を920万円上回る5,980万円の契約金額となりました。  
なお、この5,980万円の内数の拠点委託費526万円が、令和5年度収支計算書の「労働者派遣事業等受託収益」として計上されています。

2. 主な事業活動

(1) 理事会活動

- ・令和5年度は理事会を8回開催し、事業運営の進捗確認をはじめ、直面

する課題への対応について意思決定を図ってきました。

## (2) 安全就業への取り組み

- ・「安全は全てに優先する」という基本理念の下に、令和5年度安全標語「安全は、心で注意、目で確認」を安全スローガンとし、安全パトロール活動や「安全つうしん」発行により、安全啓発活動を展開しました。なお、この安全スローガンは、市川美智子さんの作品で、令和5・6年度滋賀県シルバー人材センター安全就業推進標語の最優秀作品に選ばれました。
- ・滋賀県シルバー人材センター連合会主催の「安全就業推進委員会」や、林災防協会主催の「刈払機作業の安全衛生教育」に、理事をはじめ関係会員が参加し、改めて災害防止に向けた取り組みを確認しました。
- ・「安全大会」を開催し、滋賀県シルバー人材センター連合会からの講師による安全講演や、愛知消防署による緊急事態発生時の対応の実演指導などを織り込み、安全に対するシルバー人材センターの取組方針の確認と、会員の安全意識高揚を図りました。
- ・しかしながら、令和5年度は合計6件の事故が発生しました。内訳は、会員の作業中の転倒が2件、脱水症状の発生が2件、除草作業中の飛び石による車の窓ガラスの破損等の賠償責任事故が2件発生しました。

## (3) 会員拡大の取り組み

- ・新規会員勧誘に向けて、理事・職員全員で取り組みました。従来の「いきいき相談会」の定期開催や、年5回の会員募集チラシ配布の継続に加え、川原区内の県道206号の拡幅工事に伴う「遺跡発掘調査」や、「たねや」等の新規就業募集に連動させた、的を絞った会員募集チラシを町内全戸に緊急配布し、新入会員の拡大に繋げることができました。
- ・その結果、令和5年度の新規入会会員数は56名に達しましたが、他方で退会会員が48名となり、会員の純増は8名に留まりました。結果として当年度末の会員数は前年度末の314名から322名となり、目標の「会員数340名以上」には届きませんでした。

## (4) 就業機会・就業拡大への取り組み

- ・新規入会者に対して「会員講習会」を開催し、会員としての基礎知識と活動内容について理解いただくよう取り組むとともに、可能な限り希望される職種とマッチングした仕事の紹介に努めました。
- ・剪定業務においては、過去3年間にご契約いただいたお客さまに対して、翌年の作業案内ハガキを送付し、更に、電話での個別フォローを行い、

リピート客の確保に取り組みました。

(5) シルバー人材センターのPR活動

- ・愛荘町シルバー人材センターの様々な活動や取り組みについて、町民をはじめ各企業にご理解いただくことと、新規会員募集や新規業務の受注拡大に繋がるように、広報誌「シルバーあいしょう」を年2回発行しました。
- ・また、秦荘東小学校児童と秦荘幼稚園児を招待して、サツマイモ掘りの体験イベントを行いました。

(6) 会員相互の親睦と健康増進活動の取り組み

- ・会員相互の交流と仲間作りを目指して、「グラウンドゴルフ大会」と「お正月用の寄せ植え講習会」を昨年度に引き続き実施しました。
- ・ミュージックベル活動も毎月2回、定例的に開催しました。

(7) 独自事業活動の取り組み

- ・「端切れによる小物づくり」の得意な会員が、製作から販売まで一貫して行う独自事業に取り組んでいます。昨年秋に野洲市に於いて開催された「シルバースフェスティバル」と「愛荘66かまど祭」に出店しました。今後も引き続き、会員の皆さんの得技を活かした事業を積極的に進めていきたいと考えています。
- ・愛荘町内を花一杯にする「街中ガーデニング」の一環として、ポケットパークの一角を花壇にする取り組みも進めてきました。

(8) 講習会の開催

- ・デジタル化が叫ばれる中、パソコン教室を毎月第2・第4水曜日に開催してきましたが、講師の健康上の問題により、秋以降は中断を余儀なくされました。出来るだけ早期に新たな講師を確保して、パソコン教室の再開に努めます。また、NTTドコモから講師を招き、「スマホ教室」を3回実施しました。
- ・剪定技能の向上と剪定作業者の拡大を目指して、「剪定講習会」を開き、マツの剪定実技指導を行いました。
- ・「人権研修会」と「交通安全講習会」を開催しました。人権研修会では高齢者の基本的人権について、また交通安全講習では交通事故の防止と身近な犯罪事例とその対策について学びました。
- ・語学研修の一環として、外国人である会員の英語講師による「英語教室」を毎月4回開催しました。